

内閣府「第 1 回 PPP/PFI 事業優良事例表彰」優秀賞 受賞

この度、内閣府により新設された「第 1 回 PPP/PFI 事業優良事例表彰」※において、美保テクノス株式会社が SPC（特別目的会社）の代表企業を務める PFI 事業「鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所糺町庁舎整備等事業」が、応募総数 63 件の中から優秀賞に選出されましたことをお知らせいたします。

本事業は鳥取県及び米子市が実施する PFI 事業において、県内事業者が代表企業を務める初のケースであり、本事業が本賞を受賞したことは、大きな意義があることと考えます。

引き続き、当社は地元の建設会社、地元の企業として民間の活力により地域に貢献できる PFI 事業に積極的に取り組んでまいります。

受賞概要 ～内閣府 HP 第 1 回「PPP/PFI 事業優良事例表彰」受賞事業（別紙 2）より一部抜粋～

部門名	人口 20 万人以上の地方公共団体、国等で事業化された事例部門（部門 A）
事業名	鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所糺町庁舎整備等事業
地方公共団体等名	鳥取県、米子市
民間事業者名	がいな SSJ パートナーズ株式会社 <構成企業> 美保テクノス株式会社（設計・建設・SPC 管理業務） *代表企業 株式会社さんびる（維持管理業務） 山陰酸素工業株式会社（維持管理業務） ダイキン HVAC ソリューション中四国株式会社（維持管理業務） 株式会社桑本建築設計事務所（設計・工事監理業務） 株式会社平設計（構造設計・工事監理業務） <協力企業> 大和リース株式会社（建設業務） 有限会社亀山設計（設備設計・工事監理業務） <FA> 株式会社山陰合同銀行 <監査> 税理士法人矢尾井会計
事業方式	PFI（BTO 方式、RO 方式）
事業分野	庁舎
事業期間	令和 3 年 3 月～令和 15 年 3 月

受賞理由概要	鳥取県と米子市が共同で庁舎の整備・運営を一体的に実施する広域型の PFI 事業（サービス購入型）である。 主な評価の視点は以下のとおり。 ・新庁舎では、鳥取県及び米子市の建設・建築部門を近接配置し、相談窓口のワンストップ化や事務の合理化を図ることで、利用者だけでなく、職員の利便性向上や負担軽減を実施すること。 ・新庁舎は、ZEB Ready 認証取得により環境性能に優れており、非常用発電機や高床式の熱源供給棟の整備に加えて耐震性が要求水準を上回っていて鳥取県西部地区の防災拠点としての優れた機能を具備していること。 ・事業終了 2 年前までに事業者が申し出て、鳥取県と米子市が合意すれば契約期間を 10 年間延長する計画であり、事業者による継続的な運営が可能であること。 ・SPC 代表企業が県内事業者であり、地元企業出資比率は 70%、施設整備における地元事業者への発注率 95%と地元経済に貢献していること。
--------	---

以上

※ PPP/PFI 事業優良事例表彰

PPP/PFI 事業の中から先導的な優良事例を表彰し、地方公共団体等や民間事業者の PPP/PFI 推進のための機運醸成を図り、地域における PPP/PFI 活用拡大、PPP/PFI 活用対象の拡大及び民間事業者の創意工夫の最大化を図ることを目的とする。

詳細は以下のリンク先をご参照ください。

https://www8.cao.go.jp/pfi/hyosho/yurvojirei_index.html

初の優良事例表彰

PPP/PFI

内閣府 宮城県、津山市など10件

内閣府民間資金等活用事業推進室は6月28日、初の「PPP/PFI事業優良事例表彰」を東京・永田町の同府で開いた。先導的な優良事例を表彰し、PPP/PFIを巡る地方自治体や民間事業者などの機運の醸成を促すのが狙い。特に顕著な実績のあった事例に贈る大臣賞2件を含む10件を表彰した。

冒頭、自見英子内閣府特命担当相は「今年のPFI

法制定25周年を契機に、自治体、民間事業者の機運醸成を図るため、顕著な実績を表彰する制度として新設した」と説明。受賞10件について「いずれも先導性、汎用性、継続性、有効性が総合的に大変優れている。皆さんの素晴らしい取り組みで、わが国のPPP/PFIが進展していることに感謝する」と述べた。

人口20万人以上の自治体や国などが事業化した事例（部門A）と、人口20万人未満の自治体が事業化した事例（部門B）それぞれから大臣賞、優秀賞（5件）、特別賞（3件）を選定した。

大臣賞は、宮城県の「宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）」（部門A）、岡山県津山市の「旧刈田家付属町家群活用事業（城下小宿糒や）」（部門B）。宮城県の佐藤達也企業局公営企業管理者、津山市の谷口圭三市長らが自見担当相から表彰状を受け取った。



自見担当相（前列中央）と受賞者

優秀賞に西部事務所3号館

PPP／PFI優良事例 がないSSJ、28日表彰

内閣府は21日、「第1回PPP／PFI事業優良事例表彰」の受賞事業を公表。県内から美保テクノス（米子市昭和町、野津健市社長）を代表とするがないSSJパートナーズが手掛けた「県西部総合事務所新棟・米子市役所糺町庁舎整備事業」が優秀賞に選出された。

表彰制度は、PPP／PFI事業の中から優良事例を表彰し、同手法の活用拡大を目的として内閣府特命担当大臣により新設された制度。今年1

月から第1回目の応募を募った結果63件の応募があり、外部有識者で構成される選考委員会で10件（大臣賞2件、優秀賞5件、特別賞3件）の受賞を決めた。

棟・米子市役所糺町庁舎整備事業」は、米子市糺町に県と市が共同で鉄骨造3階建て一部4階延べ3669平方メートルの新庁舎（西部総合事務所3号館）を整備した事業。

新庁舎は、2023年8月に完成。県・市の建設・建築部門を近接配置し、相談窓口のワンストップ化や事務の合理化を図り、利用者、職員の利便性向上や負担軽減を実現。また、「Z

ebReady」の認証取得による環境性能、非常用発電機・高床式の熱源供給の整備に加え、耐震性が要求水準を上回り、西部地区の防災拠点としての機能も備えている。

「県西部総合事務所新

このほか、SPCの代表企業が県内企業であることや、地元企業の出



優良事例表彰の受賞が決まった3号館

表彰状

優秀賞

合三十万人以上の地方公共団体、国等で事業化された事例部門

鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所柁町庁舎整備等事業

がいなSSJ.パートナーズ株式会社殿

貴団体はPPP/PFの推進に資する
取組を実施しその実績は他の模範と
なるもので顕著であります
よってここに優秀賞としてその功績を
称えらるとともにこれを表彰します

令和六年六月二十八日

内閣府政策統括官（経済社会システム担当）

林 幸宏

